

各務小だより

各務小学校
校 報 3月号②
令和4年3月吉日



新しい春に向かって

校 長 松原 里佳

暖かな日差しをうけ、校庭の木々の芽が膨らみ始めました。令和3年度も、いよいよ最後の日を迎えました。子どもたちの多くの成長を感じられる1年間でした。先日、児童会運営委員会が中心となり「宝物発表会」を行いました。会のめあては「各学級の宝物発表を聞いて、1年間の頑張りを認め合おう」でした。それぞれの学級の宝物を少し紹介します。新しい春を迎える準備ができました。

なかよし1組 競い合い励まし合って勉強を進めた。図書館の本も全員が200冊以上借りた。

なかよし2組 昼休みに声をかけあって、みんなで遊ぶことができた。「心の友運動」でも、協力できた。

1年1組 大きな声で発表できるようになった。係や当番の仕事を自分たちでできるようになった。

2年1組 仲間の良いところを見つけ「すごいねカード」をたくさん書いた。

3年1組 声をかけあい、時間を守ることができた。学級のことを考えて係活動ができた。

4年1組 福祉学習や社会見学で新しいことに出会えた。「8の字跳び」など力を合わせた。

5年1組 協力して、自然の家研修や「6年生を送る会」、委員会活動に取り組んだ。

6年1組 「学習・時間・あいさつ」の3本柱に取り組み、意識が高まった。

どの学級も、みんなで話し合っ、宝物を確かめたり発表の方法を考えたりしたのだと思います。堂々とした発表で、学級の様子がよく伝わってきました。「学級目標」を大切に頑張った1年間でした。校長室の前に、「みんなでやってみよう・学級チャレンジ賞」が掲示してあります。これまでに全部で、30枚の「学級チャレンジ賞」を送ることができました。発表の中にも、このことに関わったことがいくつかありました。子どもたちには、「仲間と一緒に頑張ると、どんな良いことがあるのか」ということについて話しました。「自分も頑張ろう」と力が湧き、今までできなかったことができるようになります。今までより成長することができます。仲間の良いところや、頑張りを見つけることができます。仲間の力は、とっても大きいです。保護者の皆様、学校で頑張っていること、できるようになったことを、ご家庭でも、たくさん話題にさせていただきたいと思います。それが、自信や自己肯定感につながります。6年生から送られた「ひきつぎ書」に4つのことが書いてあります。「あいさつ・時間・学習・協力団結」です。これは、各務小学校のこの1年間の宝物です。各務小学校の子どもたちは、協力することや団結することができます。これからも、たくさんの宝物を作っていけるよう見守っていきます。

今年度も、新型コロナウイルス感染症に悩まされることが多くありましたが、保護者の皆様のご理解ご協力により、1年を終わることができました。ありがとうございました。今後も、「感染症対策に心がけ、状況を見ながら、できる範囲で」という考えのもと、学校教育を進めていきます。引き続きのご理解ご協力をよろしくお願いします。

